

令和6年2月1日

各 位

四国紙パルプ研究協議会  
会長 片山 健至

四国紙パルプ研究協議会  
「令和5年度第2回講演会」開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は当会の運営に対し、格別のご理解  
とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年度第2回講演会を下記のとおり開催いたします。

ご多忙中とは存じますが、多数ご出席下さいますよう、ご案内申し上げます。

敬 具

記

開催日時	令和6年3月5日（火）13時30分～16時
開催場所	高地県立紙産業技術センター 研修室 吾川郡いの町波川287-4 TEL 088-892-2220
共 催	高知県立紙産業技術センター
参加費	無料(申込必要)
申込先	四国紙パルプ研究協議会事務局 〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町 4084-1 TEL 0896-58-2055 FAX 0896-58-6240 E-mail info@e-kami.or.jp
申込方法	別紙参加申込書を、 <b><u>2月27日(火)までにFAXまたはE-mailにて</u></b> お送りください。

〔お問い合わせ先〕 四国紙パルプ研究協議会事務局  
〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町 4084-1  
TEL 0896-58-2055

以 上

# 四国紙パルプ研究協議会 「令和5年度第2回講演会」講演発表プログラム

開催日程 2024年3月5日(火)  
開催時間 13時30分～16時

会長挨拶 13:30～13:35 (05)

講演1 「市販品の生分解性評価手法の検討」 13:35～14:05 (30)  
高知県立紙産業技術センター 加工技術課 課長 遠藤 恭範 氏

最近、生分解性を意識した商品が店頭の数多く並ぶようになりました。と同時に、本当にそのとおりに生分解するのかという疑問が出てくるのではないのでしょうか。実際に現在の公定法による生分解性評価は商品の評価に応用ができていないことも課題となっています。

今回は市販品の生分解性を検証する内容に加え、生分解性の可否を簡易に確認したい要望に対し、約3週間で完結する評価方法も確立しましたのでご紹介します。

(休憩 10分)

講演2 「エレクトロスピンニング法によるナノファイバーの今後の展開」  
～ITMA2023(国際繊維機械展示会)での最新技術の紹介も含めて～ 14:15～15:15 (60)  
福井大学 繊維マテリアル研究センター 教授 山下 義裕 氏

エレクトロスピンニング法によるナノファイバー作製技術はフィルター用途やバイオメディカル用途で実用化されている。また海外ではニードル針ノズルを使わない方法もある。最近のナノファイバー作製技術やそこからの糸の作製の事例の紹介ならびにナノファイバーの今後の展開についての事例を紹介する。またニードル方式はエレクトロスピンニング法の基本であり、どのように繊維がナノ化されるのかについても紹介する。

(休憩 10分)

講演3 「CARMIX CFRTP による音響振動板への可能性」 15:25～15:55 (30)  
阿波製紙株式会社 研究開発部 佐藤 宏亮 氏

スピーカーは、我々の身近で様々な機器に搭載されており、高音質スピーカーが奏でる音楽は人々の QOL を向上させる。音質向上のため、スピーカーに搭載している振動板の材質は重要であるが、振動板の材質と人々が感じる音の印象の関連性について定量的な結果を得ていない。

そこで、スピーカーの音質向上を目的とし、振動板の材質と音の嗜好性との相互関係について検証した。振動板は、阿波製紙が上市している炭素繊維と樹脂繊維の短繊維からなるプレス成形用シート「CARMIX CFRTP」をはじめとした繊維強化プラスチック(FRP)で試作し、評価およびツイーター用振動板へ製品化を行った事例について紹介する。

閉会挨拶 15:55～16:00 (05)

# FAX 送 信 票

FAX 送付先 四国紙パルプ研究協議会 事務局  
FAX 番 号 0 8 9 6 - 5 8 - 6 2 4 0

## 令和5年度 第2回講演会参加申込書 (令和6年3月5日開催)

事業所名			
所在地			
TEL 番号		FAX 番号	
No.	部署・役職名	参加者氏名	
1			
2			
3			
4			
5			

E-mail info@e-kami.or.jp

2月27日(火)締切